

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

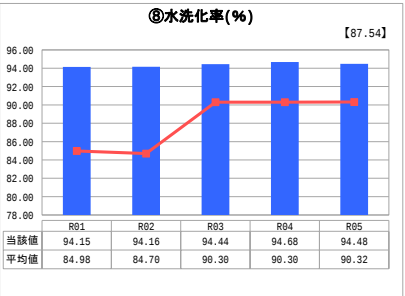
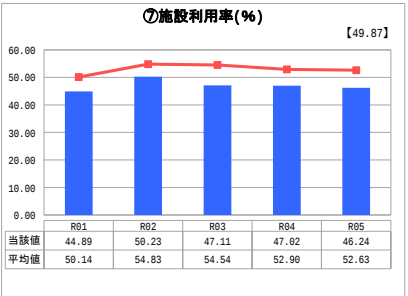
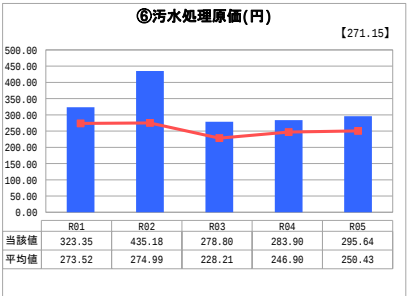
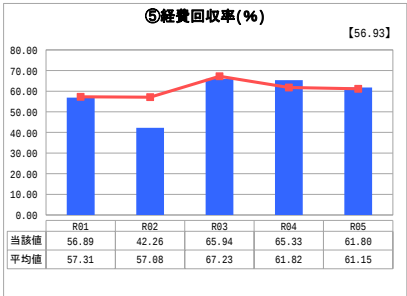
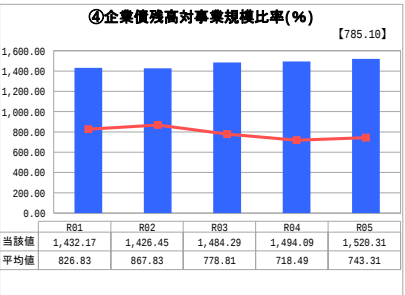
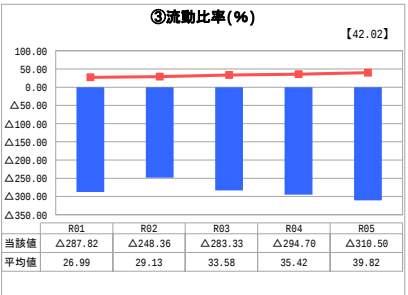
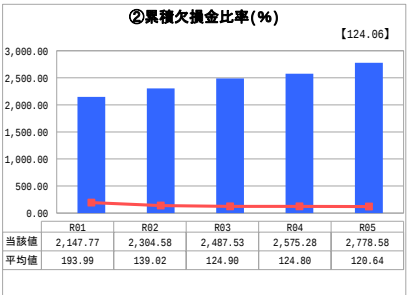
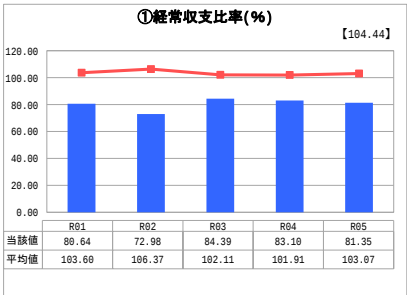
兵庫県 加西市

| 業務名       | 業種名         | 事業名    | 類似団体区分 | 管理者の情報                         |
|-----------|-------------|--------|--------|--------------------------------|
| 法適用       | 下水道事業       | 農業集落排水 | F1     | 非設置                            |
| 資金不足比率(%) | 自己資本構成比率(%) | 普及率(%) | 有収率(%) | 1か月28m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円) |
| -         | 5.29        | 17.48  | 95.03  | 3,710                          |

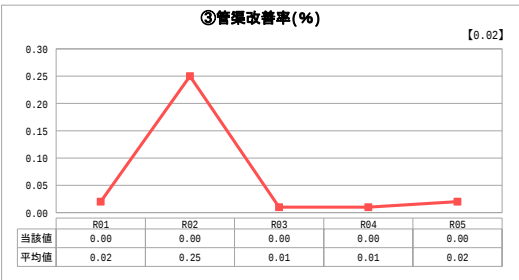
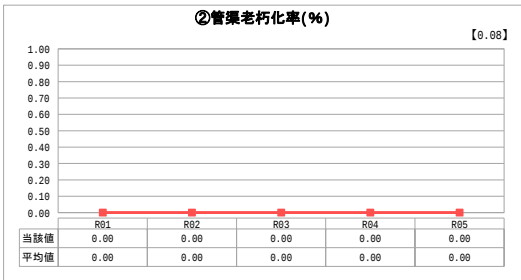
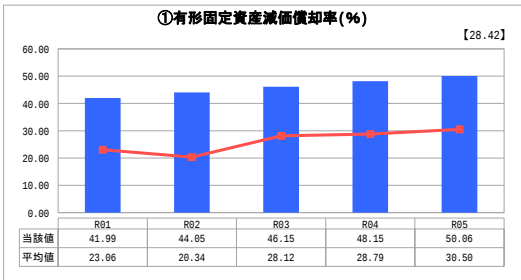
| 人口(人)      | 面積(km <sup>2</sup> )     | 人口密度(人/km <sup>2</sup> )      |
|------------|--------------------------|-------------------------------|
| 41,944     | 150.98                   | 277.81                        |
| 処理区域内人口(人) | 処理区域面積(km <sup>2</sup> ) | 処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> ) |
| 7,304      | 3.14                     | 2,326.11                      |

|                |
|----------------|
| グラフ凡例          |
| ■ 当該団体値（当該値）   |
| — 類似団体平均値（平均値） |
| 【】 令和5年度全国平均   |

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は81.35%で類似団体平均を大きく下回っています。令和5年度は、前年度に引き続き営業外収益が減少した影響から、数値はやや悪化しています。

②累積欠損金比率は令和5年度も赤字決算のため前年度に比べ悪化しており、引き続き類似団体平均を大きく上回っています。

③流動比率は、引き続き類似団体平均を大きく下回っています。ただ、公共下水道等を含めた下水道事業全体では、支払能力に問題はありません。

④企業債残高対事業規模比率は、引き続き類似団体平均を上回っています。

当事業は汚水処理区域が広い、処理施設数が多く管渠延長も長いことから、整備に多額の費用が必要となります。よって、その財源として多額の企業債を借入れたためです。

⑤⑥令和5年度は前年度に比べて使用料収入が若干減少したのに対し、汚水処理費は若干増加しました。

よって、前年度よりも経費回収率は減少・汚水処理原価は増加と、それぞれ数値は悪化しています。

⑦施設利用率は、近年は40%台と低い数値で推移しています。令和5年度は昨年度よりやや数値が悪化し、引き続き類似団体平均を下回っています。

⑧水洗化率は90%を超えており、類似団体平均よりも高い数値となっています。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は令和5年度末で50.06%と、類似団体平均と比べると数値が高く、なっています。原因としては、本市が比較的早い時期から農業集落排水事業に取り組んできたためと考えられます。

## 全体総括

農業集落排水事業は、農村部にあたる地区の下水道事業です。広い処理区域に家屋が点在しているため、効率的な汚水処理が難しく、また20箇所近くの処理施設整備費用の財源として借り入れた起債の未償還残高が多いこと等から、各指標の数値はどれもあまり良くありません。

今後は、農村部における顕著な人口減少による使用料収入の影響に加えて、施設の老朽化による維持管理・更新費用についても、最近の物価高騰の影響を受け始めており、懸念される状態です。

このため現在、特定環境保全公共下水道への統廃合事業を徐々に進めており、今後、農業集落排水事業のスリム化と経営の効率化を図っていきます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。